



東陽の旋風^{かぜ} ～自律協働貢献～

令和6年11月15日（金）No.29 発行
文責：松本 卓也

会場中が笑顔で満開になりました！ ～文化祭開催～

13日（水）、東陽中学校文化祭を開催しました。子どもたちはさまざまな教育活動で学んだことや、感じたこと、思いや願いを、心と身体で表現してくれました。1年生の発表は、「体験学習で学んだこと」。水俣病問題学習、福祉体験学習、農業体験学習を通して、「相手の思いに寄り添って考えること」「仲間と協力し力を合わせることで、大きな力になること」等、東陽町の未来のために、これからもたくさんの方のことを学び吸収したいとの思いを発表しました。2年生の発表は、「トヨフェッショナル～仕事の流儀～」。職場体験学習で学んだ各々の働くことの意義を、各事業所毎に発表しました。「誰かの役に立つことが私のやりがいになる」「お客様の喜びが自分の喜びとなる」等々、働くことが他者への貢献につながることを述べてくれました。3年生の発表は、「転生したら偉人だった件」。東陽町の偉人の功績を、「子どもたちが転生して、表現する」という、奇想天外なストーリーが見事でした。橋本勘五郎、緒方正規、島田弥一というふるさと東陽の偉人の功績をわかりやすく表現してくれました。合唱では、一人一人が歌に思いを込めて、素晴らしい歌声を響かせてくれました。41人の心のハーモニーに感動しました。また、サプライズでトヨナデスの生放送を行う等、会場にいる人々を楽しませる工夫が随所に見られました。実行委員長のTさんが、閉会式で「私自身も笑顔になって、最高の文化祭を楽しむことができました。周りの人も笑顔にできたと感じています。」と述べてくれました。私自身も同感です！会場のあちこつで、“笑顔満開”の文化祭になりました！！実行委員会の皆さん、サポートしてくれた先生方に心より感謝します。また、多くの保護者の皆さま、学校運営協議会、地域学校協働活動サポーターの皆さまにご参観いただきました。緊張しながらも精一杯表現する子どもたちの姿は、ご家庭や地域の皆さまのお陰です。ありがとうございました。



翌日、ステージ発表の責任者を招いてランチミーティングを行いました。文化祭を通して子どもたちが大きく成長したことを感じました。

① 今回の発表で訴えたかったことは何ですか？

- ・相手の気持ちに寄り添った行動や発言をすることです。（1年Sさん）
- ・働くことは自分自身の発見につながるということです。（2年Sさん）
- ・東陽の偉人は橋本勘五郎以外にも、緒方正規、島田弥一がいることです。（3年Kさん）

② ステージ発表に取り組んで苦労したことは何ですか？

- ・最初はなかなか意見が出なくて上手く進まなかったことです。（1年Tさん）
- ・資料が多くて、台詞を覚えるのが大変でした。（2年Sさん）
- ・取り組むうちに、みんながこだわりだして時間が足りなくなったことです。（3年Kさん）

③ 発表を終えた感想を教えてください。

- ・練習の時よりも声が出せました。一生懸命さが出せました。（1年Mさん）
- ・オープニング動画が間に合わなくて焦りましたが、みんなが手伝ってくれました。協力がたくさんできました。（2年Sさん）
- ・最初は自分のことで一杯でしたが、だんだん周りを見て声を掛けられるようになりました。（3年Kさん）



笑顔満開の5人です！

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）